

平成24年度
森林環境保全基金事業 実施結果レポート

山梨県

目 次

はじめに	1
森林環境税の税額	2
森林環境税の仕組み	3
事業体系	4
Ⅰ 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	
Ⅰ－1 荒廃森林再生事業	5
Ⅰ－2 里山再生事業	6
Ⅰ－3 広葉樹の森づくり推進事業	7
Ⅱ 木材・木質バイオマスの利用促進	
Ⅱ－1 甲斐の木づかい推進事業	8
Ⅲ 社会全体で支える仕組みづくり	
Ⅲ－1 県民参加の森林づくり推進事業	9
Ⅲ－2 森林体験活動支援事業	10
Ⅲ－3 地域の森づくり活動支援事業	11
Ⅲ－4 森林及び環境の保全に係る県民税普及啓発事業	12
Ⅲ－5 森林環境保全基金運営委員会の開催	13
Ⅳ その他	
Ⅳ－1 森林及び環境の保全に係る県民税導入市町村交付金	13
合計事業費	14
平成24年度の事業成果	15
おわりに	16
お問い合わせ	17

はじめに

本県は、県土面積の78%を森林が占める、全国有数の森林県です。その森林は、洪水や土砂災害から県土を保全して県民の生命や財産を守るとともに、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防止するなど、極めて重要な機能を有しており、私たちの暮らしと切り離すことができない、何ものにも代えがたい貴重な財産です。

しかし、社会経済環境の変化に伴い、民有林の多くは手入れが行き届かず、荒廃が進み、森林の持つ公益的機能が十分に発揮できなくなる恐れがあります。

このため、これまでの良好で快適な生活を将来にわたって維持できるよう、県民の暮らしを支えるかけがえのない山梨の森林を、健全な姿で未来へと引き継いでいくために、平成24年度から「森林環境税」を導入し、森林環境税を財源とした「森林環境保全基金事業」に着手しました。

ここで、平成24年度の森林環境保全基金事業の実施状況をとりまとめ、県民の皆様に「実施結果レポート」としてご報告いたします。

森林環境税の税額

① 個人

年額 500 円

- 県内に住所がある方
- 県内に事務所、事業所または家屋敷を持っている方 ※1

※1 次の方には課税されません。

- 生活保護法の規定による生活扶助を受けている方
- 前年の合計所得金額が125万円以下の障害者、未成年者、寡婦又は寡夫の方

② 法人

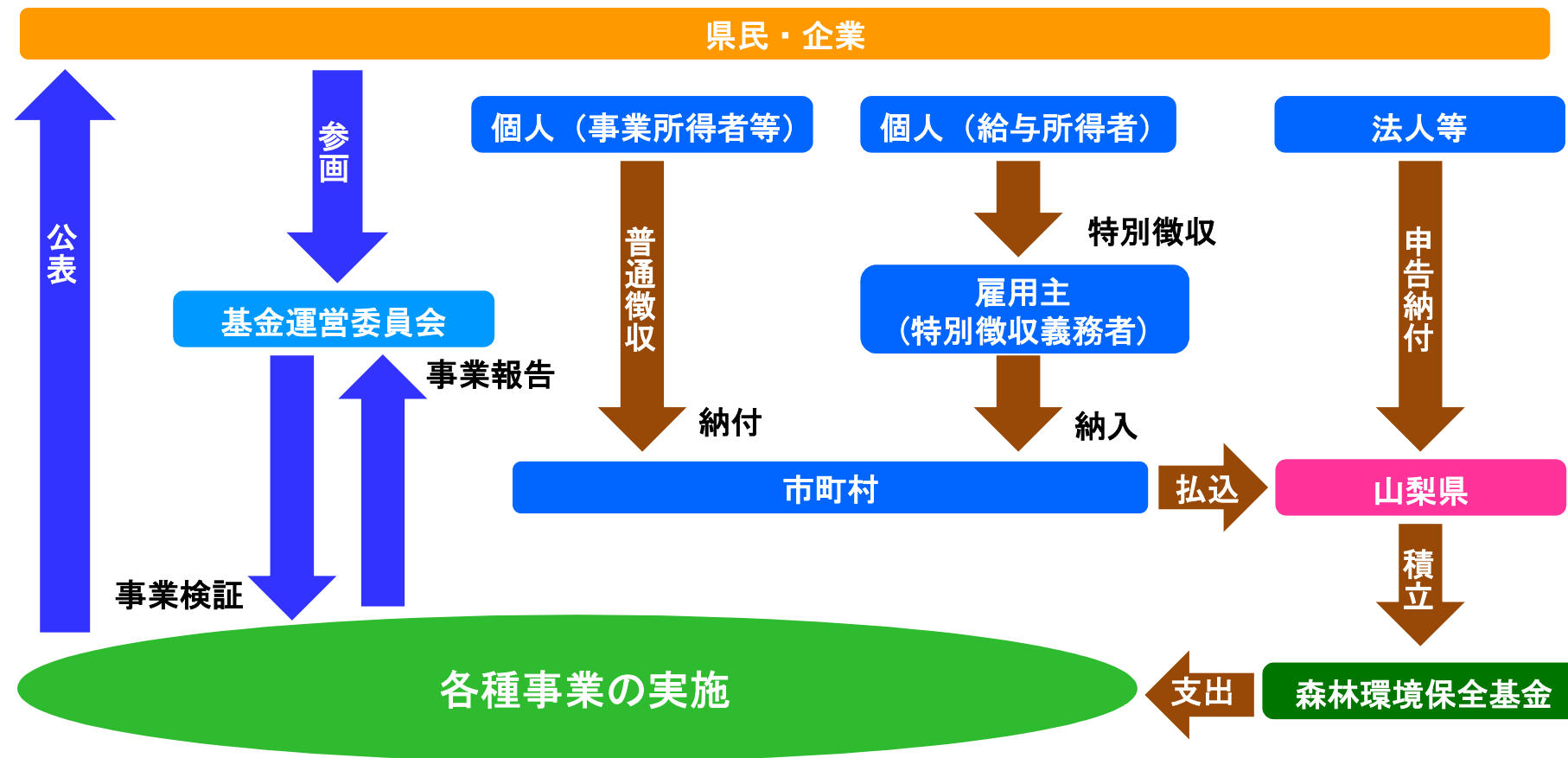
均等割額の 5 % ※2

- 県内に事務所、事業所または寮等を持っている法人等

※2 平成24年4月1日以後に終了する事業年度から課税対象となります。

森林環境税の仕組み

森林環境税は、下の図のような仕組みで徴収し、活用しています。



- 個人の方については個人県民税として、法人等については法人県民税として納めていただきます。
- 森林環境税による税収は、森林環境保全基金に積み立て、透明性を確保します。
- 運営委員会を設置し、事業の検証を行い、広く意見を反映できる仕組みとします。

事業体系

森林環境保全基金事業では、以下に掲げる「3つの基本施策」に基づき事業を行っています。

- I 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり
- II 木材・木質バイオマスの利用促進
- III 社会全体で支える仕組み

各基本施策ごとの事業内容は、次のとおりです。

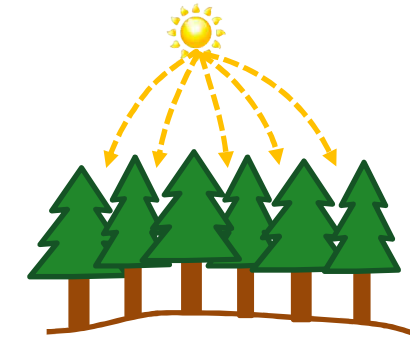
基本施策	事業名	事業内容
I 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	I-1 荒廃森林再生事業	荒廃した民有林の間伐を進め、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生
	I-2 里山再生事業	長期間放置され、低木類や竹・つるの繁茂により荒廃した里山林を再生
	I-3 広葉樹の森づくり推進事業	広葉樹の植栽により、水源涵養や生物多様性などの公益的機能を増進
II 木材・木質バイオマスの利用促進	II-1 甲斐の木づかい推進事業	県産材を利用する意識を高めるため、県産材を使用した学習用備品を学校施設等へ導入するための経費を助成
III 社会全体で支える仕組み	III-1 県民参加の森林づくり推進事業	森林の持つ様々な機能を多くの県民に理解していただき、県民参加の森づくりを進めるため、普及啓発事業を実施
	III-2 森林体験活動支援事業	子どもたちが森づくりの重要性や必要性を学び、森林を守る心を育むため、教育機関等が行う森林体験活動の費用を助成
	III-3 地域の森づくり活動支援事業	社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図ることを目的に、NPO等民間団体が行う森林整備活動の費用を助成
	III-4 森林及び環境の保全に係る県民税普及啓発事業	森林環境税の制度及び実施事業の内容等を広く県民に周知する
	III-5 森林環境保全基金運営委員会の開催	森林環境税活用事業の効果検証等に、広く県民の意見を反映させるため、森林環境保全基金運営委員会を開催
IV その他	IV-1 森林及び環境の保全に係る県民税導入市町村交付金	森林環境税導入市町村の税システム改修費用を交付

次ページより、平成24年度の実施内容を、各事業ごとに紹介します。

I 多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり

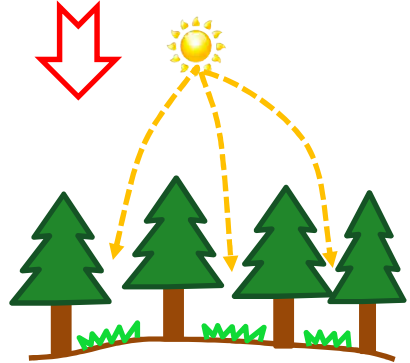
I-1 荒廃森林再生事業

植栽後に適切な森林整備が行われなかったために荒廃した人工林を整備しました。



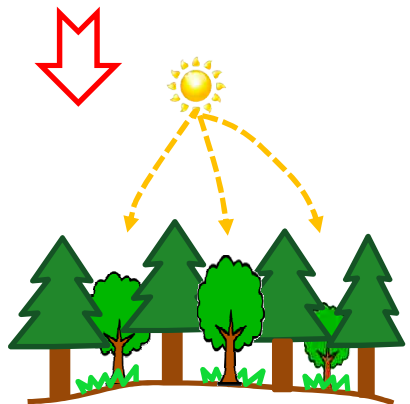
立木が混み合い
林床部に光が届かない。

間伐実施



林内に適度な空間ができ、林床部に光が届き、下草が生える。

更に数年後



針葉樹と広葉樹が入り混じった森林（針広混交林）に遷移。

○事業費

単位:円

区分	全体 (A+B)	H24年度内完了 (A)	H25年度完了予定 (B)
全体	323,883,130	169,521,439	154,361,691
うち森林環境税	174,839,837	92,439,628	82,400,209

○事業量

作業内容	全体 (A+B)	H24年度内完了 (A)	H25年度完了予定 (B)
間伐	704ha	316ha	388ha
うち獣害防除	110ha	46ha	64ha
森林作業道開設	13,316m	11,452m	1,864m
森林作業道補修	1,400m	650m	750m

○北杜市明野町浅尾地内 間伐・獣害防除0.23ha (ヒノキ13年生)



整備前



整備後

○都留市大野細野山地内 間伐0.46ha (ヒノキ35年生)



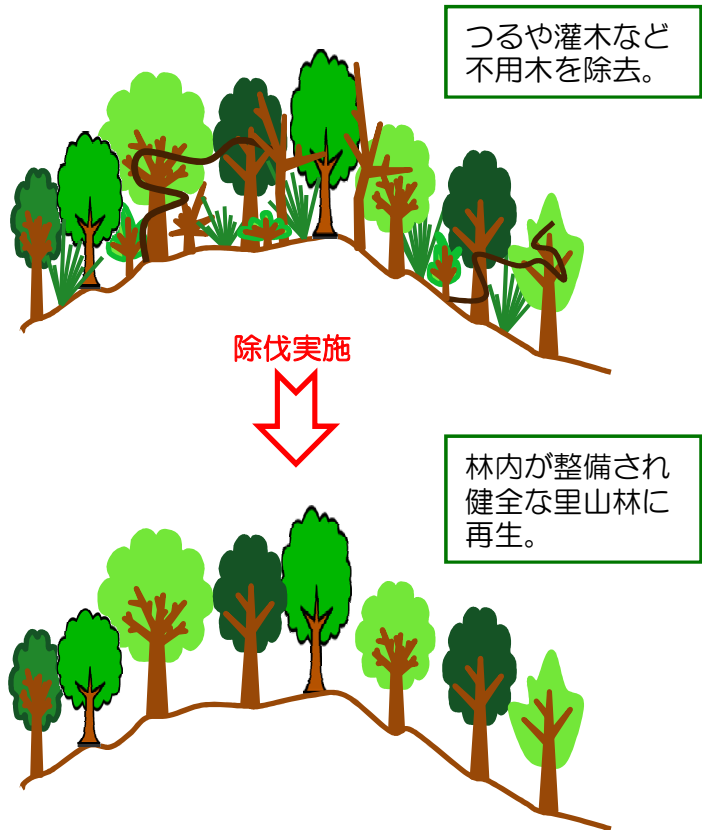
整備前



整備後

I-2 里山再生事業

つるや灌木の繁茂により荒廃した、住宅地や農地周辺の森林（里山林）を整備しました。



○事業費

単位:円

区分	全体 (A+B)	H24年度内完了 (A)	H25年度完了予定 (B)
全体	29,379,081	10,879,772	18,499,309
うち森林環境税	21,726,232	8,027,441	13,698,791

○事業量

作業内容	実施予定	H24年度内完了	H25年度完了予定
除伐	85ha	28ha	57ha

○南アルプス市平岡地内 除伐・集積4.05ha



整備前



整備後

○北杜市武川町三吹地内 除伐・集積15.69ha



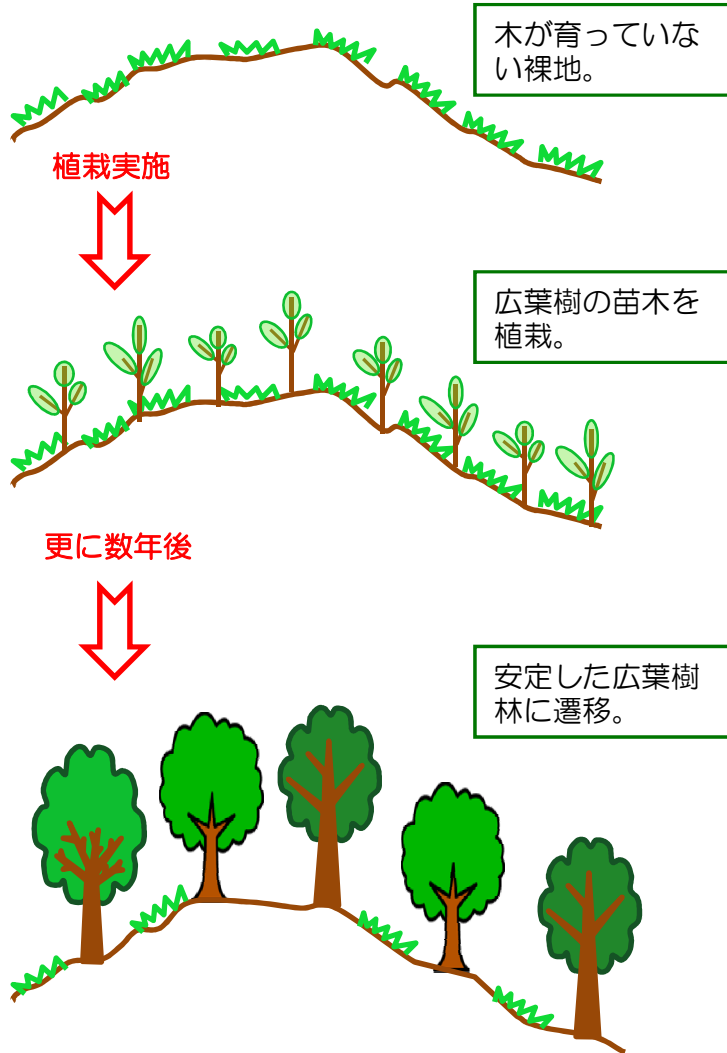
整備前



整備後

I-3 広葉樹の森づくり推進事業

伐採後に植栽がなされていない山に、広葉樹の苗木を植栽しました。



○事業費

単位:円

区分	全体	H24年度内完了
全体	39,288,874	39,288,874
うち森林環境税	19,340,159	19,340,159

○事業量

作業内容	実施予定	H24年度内完了
広葉樹植栽	16ha	16ha
うち獣害防除	11ha	11ha

○山梨市牧丘町杣口地内 植栽・獣害防除1.84ha (ミズナラ)



整備前



整備後

○南巨摩郡富士川町平林地内 植栽・獣害防除1.84ha (ミズナラ)



整備前



整備後

II 木材・木質バイオマスの利用促進

II-1 甲斐の木づかい推進事業

県産材を利用する意識を醸成し、利用促進を図るため、県産材で作製した学習用備品を小・中学校に導入しました。

				金額:円
補助対象	学校名	学習用備品名	数量	補助金額
早川町	町立早川中学校	机・椅子	30組	900,000
小菅村	村立小菅中学校	机・椅子	20組	600,000
計	2校		50組	1,500,000

○早川町立早川中学校の授業風景



【先生・生徒さんのご意見】

- ・木の温かみを感じられ、香りが心地よい。
- ・イスの座面が広く、座りやすい。
- ・机も広く、カーブラインが施してあるので使いやすい。
- ・コンパスの針が刺さってしまうこともあるが、柔らかさについては不便さは感じない。

○小菅村立小菅中学校の授業風景

【先生・生徒さんのご意見】

- ・机が広く、高さ調節ができるので使いやすい。
- ・地域に感謝する気持ちが育まれているようだ。
- ・木を身近に感じられ、木のぬくもりで心が落ち着く。
- ・小菅のマーク入りのイスで、とても良い。
- ・多少ガタガタするものもある。広くて良いが、奥行きがありすぎて物が取りにくいことも。



Ⅲ 社会全体で支える仕組みづくり

Ⅲ-1 県民参加の森林づくり推進事業

「地球温暖化防止」、「水源の涵養」など、森林のもつ公益的機能について多くの県民に理解していただき、県民参加の森林づくりを進めるための普及啓発事業を行いました。

内容	開催日・場所	参加人数	金額:円
			事業費
木質バイオマスシンポジウム ・基調講演 草野満代氏 ・パネルディスカッション	H25.1.12 県立文学館	304名	543,706



シンポジウムの状況



来場者への木質バイオマスのPR
(ペレットストーブや薪ストーブなどの展示)

Ⅲ－2 森林体験活動支援事業

子どもたちが森林体験活動を通じて森林の重要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育むことを目的に、教育機関などが行う森林体験活動の費用を助成しました。

金額：円

補助対象	活動場所	活動日・期間	参加人数	助成金額
白州中学校	ヴィレッジ白州	H24.10.24	33名	95,000
峡南幼稚園	キープ自然学校	H24.7.12～13	29名	64,000
道志小学校	村内私有林	H24.7.27～8.24	26名	190,000
都留文科大学 附属小学校	小学校裏私有林	H24.8.1～12.7	74名	250,000
開地保育園	保育園裏私有林	H24.10.20	120名	189,564
ひまわり保育園	東京大学富士演習林	H24.10.22	81名	230,000
計	6教育機関		363名	1,018,564

○開地保育園（森の散策）



○白州中学校（間伐体験）



○都留文大附属小学校（しいたけ植菌体験）



Ⅲ-3 地域の森づくり活動支援事業

多くの県民が、森づくり活動を通じて森林の果たしている役割について理解を深め、社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図るため、NPO等の民間団体や地域住民が行う森林整備活動に対し、費用を助成しました。

金額:円				
補助対象	活動場所	活動日・期間	参加人数	補助金額
甘利山倶楽部	甘利山財産区有林	H24.10.4~12.5	34名	117,000
峡北地区林業研究会	横手地内私有林	H24.9.7~H25.3.15	81名	250,000
七覚むらづくり協議会	右左口地内私有林	H25.1.26	24名	100,000
わんぱく森の塾	塩山牛奥地内私有林	H25.3.19・23	5名	17,700
早川山守会	西ノ宮地内私有林	H25.7月~11月	20名	33,700
なんぶ里山研究会	楮根地内私有林	H25.8月・12月	33名	212,000
笹子町政運営委員会	白野財産区有林	H24.10.27~28	34名	250,000
計	7団体		231名	980,400

○七覚むらづくり協議会（除・間伐）



○なんぶ里山研究会（間伐体験）



Ⅲ-4 森林及び環境の保全に係る県民税普及啓発事業

森林環境税の制度や事業内容を多くの県民の方々に知っていただくため、ポスターとリーフレットを作成し、配布しました。

金額：円

内容	配布場所	事業費
ポスター500枚、リーフレット20,000部 作成・配布	県営施設、市町村、金融機関等 合計237箇所に配布	339,999



○リーフレット（表面）



○ポスター



○リーフレット（中面）

Ⅲ-5 森林環境保全基金運営委員会の開催

森林環境税を活用した事業の成果の検証等に、広く県民の方の意見を反映させるため、森林環境保全基金運営委員会を設置・開催しました。

区分	開催日	場所	内容	金額:円
				事業費
第1回	H24.7.26	ホテル談露館	基金の説明及び事業実施計画など	112,492
第2回	H25.3.21	ホテル談露館	事業実施状況及び次年度予算など	97,550
計	2回			210,042



○第1回委員会の開催状況 (H24.7.26)



○第2回委員会の開催状況 (H25.3.21)

IV その他

IV-1 森林及び環境の保全に係る県民税導入市町村交付金

森林環境税の導入に伴う、市町村の税務システムの改修を行うため、「森林環境税導入市町村交付金」を交付しました。

内容	配布場所	金額:円
		事業費
市町村における税システム改修事業費	小菅村・丹波山村を除く13市8町4村に交付	5,915,011

平成24年度の事業費

平成24年度の事業費（全体・国庫補助金・森林環境税）は下表のとおりです。
合計で、**2億2千6百万円余**の森林環境税を使い、各種事業を行いました。

基本施策	事業名	事業費		
		全体	国庫補助金	森林環境税
多様な公益的機能の維持・ 増進を図る森づくり	荒廃森林再生事業	323,883,130	149,043,293	174,839,837
	里山再生事業	29,379,081	7,652,849	21,726,232
	広葉樹の森づくり推進事業	39,288,874	19,948,715	19,340,159
木材・木質バイオマスの 利用促進	甲斐の木づかい推進事業	1,500,000	0	1,500,000
社会全体で支える仕組み	県民参加の森林づくり推進事業	543,706	0	543,706
	森林体験活動支援事業	1,018,564	0	1,018,564
	地域の森づくり活動支援事業	980,400	0	980,400
	森林及び環境の保全に係る 県民税普及啓発事業	339,999	0	339,999
	森林環境保全基金運営委員会の開催	210,042	0	210,042
その他	森林及び環境の保全に係る県民税 導入市町村交付金	5,915,011	0	5,915,011
合計		403,058,807	176,644,857	226,413,950

※平成25年度へ繰越した金額を含む。

平成24年度の事業成果

平成24年度事業を実施したことにより得られた成果をまとめました。

	事業名	計画量		H24年度実績	事業実施による効果
		5ヶ年 (H24~H28)	年平均		
多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり	荒廃森林再生事業	4,000ha	800ha	704ha (388ha)	繰越箇所についても同意が得られており、確実に整備されることから、704haの荒廃森林が再生される。
	里山再生事業	500ha	100ha	85ha (57ha)	繰越箇所についても同意が得られており、確実に整備されることから、85haの荒廃した里山林が再生される。
	広葉樹の森づくり推進事業	100ha	20ha	16ha	16haの伐採跡地等で広葉樹の植栽が行われ、公益的機能の維持・増進が図られた。
木材・木質バイオマスの利用促進	甲斐の木づかい推進事業	500組	100組	50組	県産材の利用促進に加え、導入した2校の生徒さんからも好評を得ており、今後の更なる利用拡大が期待できる。
社会全体で支える仕組み	県民参加の森づくり推進事業	—	—	—	304名の参加のもとで木質バイオマスシンポジウムを開催。木質バイオマス燃料についての普及啓発が図られた。
	森林体験活動支援事業	56教育機関	11教育機関	6教育機関	363名の参加のもとで森林体験活動が行われ、子どもたちが楽しみながら森林について学ぶ場を提供できた。
	地域の森づくり活動支援事業	68団体	14団体	7団体	231名の参加のもとで森林整備活動が行われ、地域主体による森林整備への足がかりができた。
	森林及び環境の保全に係る県民税普及啓発事業	—	—	—	ポスターとリーフレットの配布により、税の内容と活用方法を周知することができた。
	森林環境保全基金運営委員会の開催	10回	2回	2回	各委員より県民を代表する意見をいただき、今後の事業内容等についてを検証することができた。
その他	森林及び環境の保全に係る県民税導入市町村交付金	—	—	—	小菅村・丹波山村を除く13市8町4村に交付され、円滑な納税事務処理が行われている

※ () 内の数字は、平成25年度への繰越面積で、内数。

「多様な公益的機能の維持・増進を図る森づくり」の3事業については、平成25年度より「事業効果検証モニタリング調査」を行い、各事業の実施により得られた効果を数値的に示すこととしています。
(詳しい内容は、森林環境保全基金運営委員会の平成25年度第1回目の資料をご覧ください。)

おわりに ～今後に向けて～

平成25年7月に行われた基金運営委員会に、平成24年度に実施した森林環境保全基金事業についてご報告し、各委員より「事業効果の検証」と「事業のPR」の必要性など、多くの意見をいただいたところです。

その意見を参考にしながら、導入2年目にあたる平成25年度の事業に取り組んでいます。

私たちの生活は、豊かな森林からの恩恵を受けて成り立っています。

これからも、県民の皆様とともに山梨の森林を守り育てるために、森林環境税を有効に活用して参ります。

お問い合わせ

税を活用した事業について

山梨県庁森林環境部森林環境総務課	・・・・・・・・	055-223-1634
中北林務環境事務所	・・・・・・・・	0551-23-3089
峡東林務環境事務所	・・・・・・・・	0553-20-2722
峡南林務環境事務所	・・・・・・・・	055-240-4168
富士・東部林務環境事務所	・・・・・・・・	0554-45-7813

税の仕組みについて

山梨県庁総務部税務課	・・・・・・・・	055-223-1387
------------	----------	--------------

○事業効果の検証について

1. 目的

- 森林環境税を活用して森林整備を実施した箇所において、整備したことによりどのように改善されたのかを検証
- 森林整備の目的が達成されているか検証する必要
- 事業を導入したことにより改善された結果を数値化し、わかりやすく県民に報告

2. 検証方法

(1) 荒廃森林再生事業



○ 荒廃した民有林を間伐し、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生

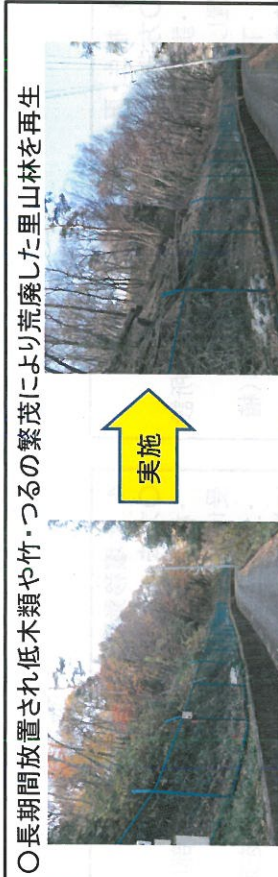
実施

検証

○ モニタリング調査を実施
強度間伐の実施前後における森林内の状況の把握、光環境の変化、下層植生の回復状況、表土の流失状況について継続的に調査

- ・ 現況の把握: 毎木調査による整備実施前の現況調査
- ・ 光環境の変化: 光環境調査による開空度の比較
- ・ 下層植生の回復状況: 植生・更新調査により、植被率の経年変化を調査
- ・ 表土の流出状況: 土砂受け箱による土壌移動量調査

(2) 里山再生事業



○ 長期間放置され低木類や竹・つるの繁茂により荒廃した里山林を再生

実施

検証

○ アンケート調査を実施
事業効果を定量的に示すことが困難であることから、事業実施後の「地域住民の満足度」を調査

- ・ 事業実施箇所の周辺地域の住民を対象にアンケート調査を実施
- ・ 調査結果を分析

(3) 広葉樹の森づくり推進事業



○ 広葉樹の植栽により水源涵養や生物多様性などの公益的機能を増進

実施

検証

○ モニタリング調査を実施
無立木地に広葉樹を植栽する事業であることから、当面は、植栽木の成長状況について継続的に調査

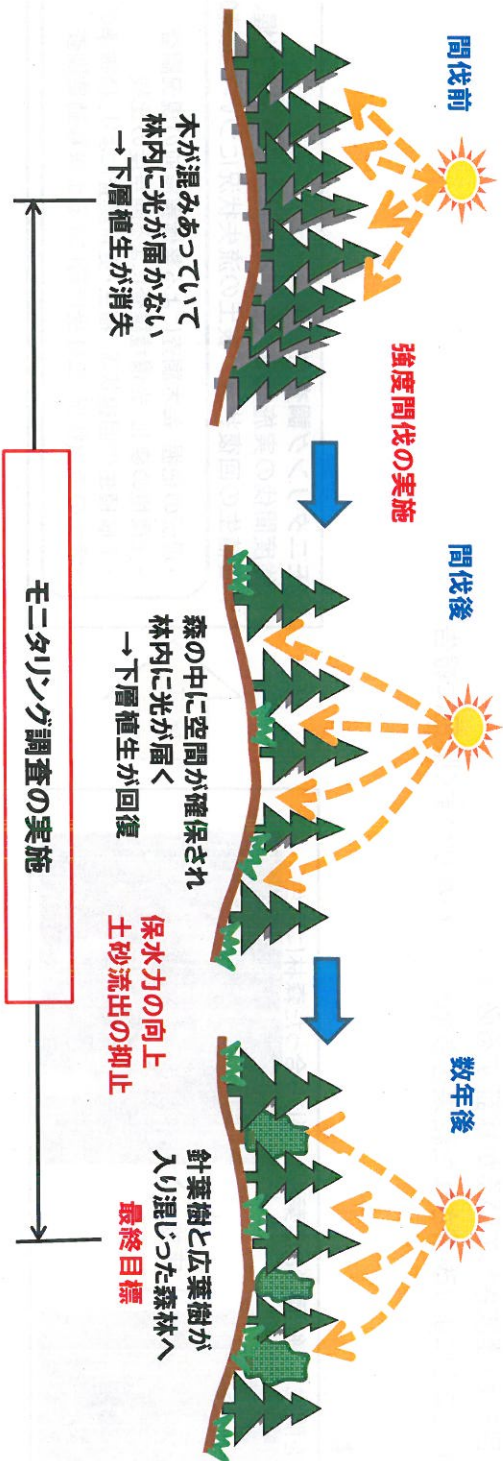
- ・ 植栽木の成長状況: 植栽木の伸長量・根元径などの経年変化を調査 (将来的には、昆虫や鳥類などの種類や生息状況を調査 → 生物多様性について検証)

3. 検証実施機関
モニタリング調査については、山梨県森林総合研究所が主体となり実施


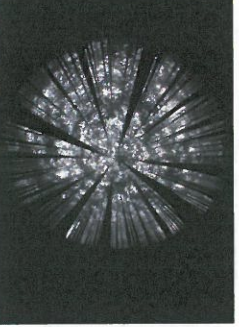


○ 荒廃森林再生事業を検証するためのモニタリング調査について

税事業資料

1. 荒廃森林が再生するイメージ



2. 調査項目・方法

<p>1 毎木調査 ○方法 ・20m×20mの調査区を設置 ・調査区内の成立木の樹種、胸高直径等のデータを採取</p> 	<p>2 光環境調査 ○方法 ・魚眼レンズ付カメラで樹冠方向の全天空写真を撮影 ・全天空写真を解析し、開空度を測定 ・事業実施前後に同じ場所、類似条件下で撮影し、開空度の比較を行う</p> <p>全天空写真 黒い部分は幹・枝・葉で、白い部分が光が入射可能な空間。全体面積のうち白い部分が占める面積の比率を開空度とする。</p> 	<p>3 植生・更新調査 ○方法 ・調査区内に1m×1mの枠を10箇所設置し写真を撮影 ・下層植生が覆っている面積比率(植被率)を目標で算定 ・植被率の経年変化を調査</p> 	<p>4 土壌移動量調査 ○方法 ・植生・更新調査の標準地の下部に土砂受け箱を設置 ・土砂受け箱内に溜まった土砂を定期的に取り出し、乾燥重量を測定 ・事業実施前後の土砂の採取量を比較</p> 
--	--	--	--

3. 調査実施箇所

平成25年度は、4林務環境事務所の各管内に調査区を3箇所設置し、継続調査を開始(県下12調査区)